

基本目標No.	5	基本目標名	豊かな自然と共生したまち
施策No.	38	施策名	廃棄物の抑制とリサイクルの推進
主管課名	環境安全課		
関係課名			

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみに対する意識が高まり、減量化、リサイクルの取組みが進むことにより、ごみが減少しています。 ・効率的なごみの収集・運搬・処理体制が確立し、廃棄物が適正に処理されています。
-----------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・3R活動に取り組みます。 ・ポイ捨てなど不法投棄はしません。 ・事業所は、ごみの減量に取り組み、自らの責任において処理します。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・3R活動(リデュース、リユース、リサイクル)が市内全家庭に浸透し実践されるよう普及、啓発活動を行います。 ・効率的かつ適正にごみの収集・運搬・処理を行います。 ・資源物が効率的、適切に回収されるよう環境(収集体制、施設等)を整備します。
	その他(地域)	<ul style="list-style-type: none"> ・資源物の集団回収を行います。

市民意識調査結果	<p>< 施策満足度調査結果 > ※27年度は「実感度」</p> <table border="1"> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td>0.507</td> <td>0.416</td> <td>0.443</td> <td>0.384</td> <td>0.790</td> </tr> </table>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	0.507	0.416	0.443	0.384	0.790	
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度							
0.507	0.416	0.443	0.384	0.790								
<p>< 施策重要度調査結果 ></p> <table border="1"> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td>0.838</td> <td>0.907</td> <td>0.802</td> <td>0.904</td> <td></td> </tr> </table>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	0.838	0.907	0.802	0.904			
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度								
0.838	0.907	0.802	0.904									

施策のトータルコスト	区分	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	8 (8)	8 (8)	8 (8)	7 (7)
うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	6 (6)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	
うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	2 (2)	3 (3)	3 (3)	2 (2)	
うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—					
うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—					
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	250,517	258,584	262,462	256,922	
うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	224,496	225,329	233,452	228,073	
うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	26,021	33,255	29,010	28,849	
うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—					
うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—					
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	16	17	17	17	
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	2,840	2,840	3,220	3,220	
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	—	12,493	11,911	14,110	13,463	
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	263,010	270,495	276,572	270,385	
効率性指標	G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	5,653	5,872	6,026	5,954
	同上	円	—	—	282	270	324	312
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	5,935	6,143	6,350	6,266
	同上	円	—	—	5,935	6,143	6,350	6,266
参考	I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	5,935	6,143	6,350	6,266
	1時間あたりの平均人件費	円	—	—	4,399	4,194	4,382	4,181
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	—	44,315	44,036	43,555	43,152

基本事業概要シート①

施策No.	38	施策名	廃棄物の抑制とリサイクルの推進
基本事業名①		ごみの発生抑制と減量化の推進	
基本事業①の目的(意図)		市民(各家庭)、事業者への啓発を通じて、さらなるごみの排出抑制と減量・分別の徹底を図ります。	
平成27年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【ごみ集積場及び資源物集積場設置補助事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会等が、固定型のごみ及び資源物のステーションを新設、更新する際に、設置に係る費用の一部を補助しました。(H27:13件 補助率1/3 上限5万円) <p>【一般廃棄物収集運搬事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般家庭から出されるごみ(もやせるごみ、もやせないごみ、金属粗大ごみ等)を適切に収集、処理施設への運搬を行いました。また、地区等で行われた清掃ボランティア活動により回収されたごみ等の収集、運搬を行いました。 <p>【不法投棄廃棄物処理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄物や海岸漂着物などの処理困難物を迅速、適切に処理しました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
排出ごみ(家庭系)1人1日あたりの量	g	601.7	596.8 585.4	591.8 596.2	586.9 604.1	581.9 589.7	577.0 592.4	572.0 593.7	542.0
事業系一般廃棄物の量	t/年	4,902	4,865 4,853	4,832 4,833	4,798 4,814	4,764 4,661	4,731 4,550	4,700 4,309	4,400

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成27年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	環境衛生推進事業	1,791,000	1,627,251	163,749	-	環境安全課
2	一般会計	◎ 一般廃棄物収集運搬事業	200,243,335	197,755,863	2,487,472	B	環境安全課
3	一般会計	◎ ごみ集積場及び資源物集積場設置補助事業	750,000	628,000	122,000	B	環境安全課
4	一般会計	し尿収集事業	28,569,000	27,918,227	650,773	-	環境安全課
5	一般会計	◎ 不法投棄廃棄物処理事業	410,000	143,586	266,414	B	環境安全課
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			231,763,335	228,072,927	3,690,408		

基本事業概要シート②

施策No.	38	施策名	廃棄物の抑制とリサイクルの推進
基本事業名②		リサイクルの推進	
基本事業②の目的(意図)		各家庭から出されるごみの減量とあわせ、市民が資源物を出しやすい環境を整え、容器包装などの資源物のリサイクルを推進します。	
平成27年度における 主な事業内容(活動内容)		【資源物収集運搬管理事業】 ・地区等の資源物ステーション及び常設資源物ステーション(市内6施設)に出された資源物を適切に収集、中間処理を行い、リサイクル事業者へ適切に引き渡しました。 【資源物集団回収推進事業】 ・資源物を回収し、再生資源回収事業者へ引き渡した団体に対し、引き渡し量に応じて報奨金を交付しました。(2.5円/kg)	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
資源物収集量	t/年	1,944	2,003	2,063	2,122	2,181	2,241	2,300	2,800
			2,007	2,063	2,072	2,131	2,252	2,320	
分別リサイクル率	%	16.2	16.9	17.5	18.1	18.7	19.4	20.0	25.0
			17.2	17.5	17.4	18.3	19.3	19.9	

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成27年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	◎ 資源物集団回収推進事業	2,063,000	1,852,028	210,972	B	環境安全課
2	一般会計	◎ 資源物収集運搬管理事業	27,096,665	26,997,004	99,661	B	環境安全課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			29,159,665	28,849,032	310,633		

施策No.	38	施策名	廃棄物の抑制とリサイクルの推進
-------	----	-----	-----------------

27年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	<p>1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)</p> <p>【①ごみの発生抑制と減量化の推進】 ◆1人1日当たりのごみ排出量は、ほぼ横ばいで推移し、概ね市の目標値を達成しています(H27目標値572.0g 実績593.7g)。また、事業系のごみ量は、市の目標値前後で推移していましたが、平成27年度は、前年比5.5%のマイナスとなり目標値を達成する結果となりました(H27目標値4,700t/年 実績4,309t/年)。</p> <p>【②リサイクルの推進】 ◆資源物収集量は、年々増加しており、目標値を上回っています。 ◆分別リサイクル率(資源物収集量-kg/(家庭ごみ-kg+資源物収集量-kg))についても、目標値は下回っていますが、年々増加傾向にあります。</p>
	<p>2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (27年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)</p> <p>【①ごみの発生抑制と減量化の推進】 ＜ごみ集積場及び資源物集積場設置補助事業＞ ◆固定型のごみ及び資源物ステーションを新設、更新する地区等に対して、13件の補助を行い、ごみの排出や公衆衛生等の環境が向上しました。(補助率1/3 上限5万円) ＜一般廃棄物収集運搬事業＞ ◆一般家庭から出されるごみは、適切に収集、処理施設への運搬を行いました。市民へは、ごみの減量化や分別の徹底について指導しました。また、地区等で行われる清掃ボランティア活動に対しては、ボランティア袋の提供、回収されたごみ等の収集、運搬などの支援を行いました。 ＜不法投棄廃棄物処理事業＞ ◆不法投棄物や海岸漂着物などの処理困難物を迅速、適切に処理しました。</p> <p>【②リサイクルの推進】 ＜資源物収集運搬管理事業＞ ◆地区等の資源物ステーション(市内158箇所)及び常設資源物ステーション(市内6施設)に出された資源物を収集し、リサイクル事業者へ適切に引き渡しました。また、利用率の低い常設資源物ステーションについては、引き続き地区環境保健衛生協議会等を通じて利用促進に努めました。 ◆平成23年9月から「使用済み小型家電回収ステーション」で開始した使用済み小型家電の回収については、「小型家電リサイクル法」の平成25年4月1日の施行に合わせ、パソコンも回収しています。さらに、民間事業者による衣類のリサイクルについても平成25年度から実施されています。 ＜資源物集団回収推進事業＞ ◆資源物回収を行った団体へ報奨金を交付しました。(H27:95団体 733t)</p>
	<p>3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)</p> <p>【①ごみの発生抑制と減量化の推進】 ◆ごみの減量化や資源物のリサイクルの取組みは、市民等のごみに対する意識の高まりから進み、概ね市の目標値で推移しています。しかしながら、排出されているごみの中にはリサイクル可能な資源物が混在しているため、引き続き魚津市環境保健衛生協会等と連携して、3R活動やマイバッグ運動の推進(レジ袋の削減)等の普及、啓発を図りごみの発生抑制と減量化に努めていきます。 ◆市内各地で発生する不法投棄に対しては、環境巡視員、環境キーパーによる監視や地区防犯パトロール員の協力による巡視を行うなど防止活動を強化していきます。また、関係地区民との協働による撤去作業等を推進していきます。</p> <p>【②リサイクルの推進】 ◆常設資源物ステーション拠点整備事業については、市内6か所まで回収しています。現状において施設数は十分であると判断できますので、新たな設置は当面の間しないこととします。また、利用率の低い常設資源物ステーションについては、引き続き地区環境保健衛生協議会等とも連携しながら利用率向上のための周知・利用促進に努めていきます。</p>

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	<ul style="list-style-type: none"> ◆分別の徹底やリサイクルの推進を理解し実践されるように周知、啓発に努めていくこと。また、ごみの出し方に関するルールの徹底等について周知、啓発を図ること。 ◆常設資源物ステーション(市内6施設)について、各地区等への周知・利用促進に努めること。 ◆不法投棄対策については、引き続き地域住民をはじめ、環境保全団体等との連携による監視活動や除去活動を行っていくこと。
---	--

経営戦略会 議における施 策の課題及 び方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆3R(リデュース、リユース、リサイクル)に関する情報提供や啓発に努め、ゴミの発生抑制、減量化及びリサイクルを推進します。 ◆常設資源物ステーションの周知・利用促進を図り、資源物の効果的、効率的な収集体制を構築します。
---------------------------------	--

28年度開始 の第10次基 本計画におけ る対応施策	施策No.	施策名	基本事業①	
	—	—	基本事業②	
			基本事業③	
			基本事業④	

第9次基本計 画からの変更 点	旧施策No.38「消防・救助・救急体制の整備」を新施策No.36基本②「廃棄物の適正処理・3R活動の推進」へ統合。			
-----------------------	---	--	--	--